



昭和大学江東豊洲病院だより

2020年3月号

第71号

巻頭言 脳神経外科 いけだ ひさと
池田 尚人

◆ 脳転移（転移性脳腫瘍）の手術とは・・・

2019年6月、厚生労働省が「平成30年人口動態統計月報年計（概数）の結果」を公表しました。2018年の日本人の死亡原因の第1位、第2位は、これまで同様「悪性新生物（腫瘍）」、「心疾患（高血圧性を除く）」でした。第3位は、2016年までは「肺炎」でしたが、2017年には「脳血管疾患」が第3位、2018年の調査では、「老衰」が第3位となりました。厚生労働省が発行する『死亡診断書記入マニュアル』によると、「老衰」は「高齢者で、他に記載すべき死亡の原因がない、いわゆる自然死」と定義されています。「老衰」が増加した背景には、社会全体の高齢化とともに、治療をおこなうよりも自然な死を受け入れるという考え方の変化もあるのではないかと推測されています。



「悪性新生物・心疾患・脳血管疾患」は、日本では三大疾病といわれ死因の半数以上を占めている病気です。その中の代表である「がん」は、かつては不治の病ともいわれていましたが、医療技術の進歩によって適切な治療を受ければ助かる可能性も高くなりました。また完治が難しくても治療によりコントロールすることで日常生活が可能なが増えてきています。がん治療の進歩は、思いもよらない形で一気に進歩する時が少なくありません。この点を注目すると、出来るだけ良い状態で現状維持を続けることが数年後に開発される新しい治療を受ける機会につながります。

一方、「がん」による「転移」は大きな問題であります。特に脳への転移は遠隔転移となるため最近までは深刻な問題であり、治療の中止・終了を決断しなくてはならないことも少なくありませんでした。しかしこの状況は、手術技術の進歩、放射線治療の進歩及び化学療法（薬物療法）の進歩と選択肢の増加により最近では一変しております。原発の「がん」の種類と治療の状態、転移の場所と症状がポイントとなりますが、一度病巣を制御できれば脳を良い状態で管理することが可能となってきております。このような治療は、当院でも可能であり最近増加傾向であります。

ご相談は随時お受けしますので、脳神経外科の外来までおいでください。



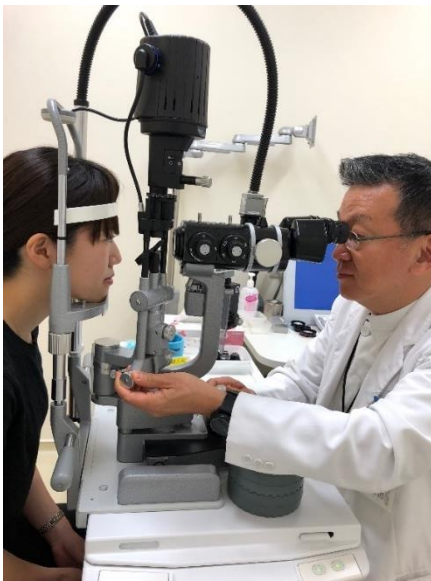
第71号のトピックス

- 巻頭言（脳神経外科）
- 花粉症について（眼科）
- 花粉症について（耳鼻咽喉科）
- 「ご意見・ご要望」についての回答
- 編集後記

昭和大学江東豊洲病院

2月になるとアレルギー性結膜炎の季節がやってきて、憂鬱になる方もいらっしゃると思います。今回は少しでもアレルギー性結膜炎を軽くする工夫をお伝えします。

アレルギーは本来身体が持っている免疫反応のひとつですが、細菌やウイルスに対するものとは違い、本来無害なものに対して身体が過剰に反応してしまったものです。アレルギー性結膜炎は色々な原因（ハウスダスト、花粉、動物の毛など）で起こりますが、その中で花粉によるものが花粉症に分類されます。2月からはじまるスギ花粉症が有名ですが、ほぼ通年で発症しております。5月頃までは樹木によるものが多く、それ以降は草花によるものが多くなっています。しかし多くの人は毎年2月になると目のかゆみやくしゃみ、鼻水などにお困りの事と思います。原因で一番多いのがスギ花粉ですので、眼科クリニックではその時期にアレルギー性結膜炎の患者さんの来院が多くなります。



最近、アレルギー性結膜炎では花粉の飛散予測時期の2週間ほど前からステロイド薬ではない抗アレルギー点眼薬を使用すると、症状が軽くなる事がわかってきております。特に症状の強い方、花粉が大量に飛ぶと予報が出た年には有効と言われております。毎年花粉症に悩まされている方や、花粉の飛散が多いと予想される年は早めに眼科を受診して、目薬を処方してもらうことをお勧めいたします。今までの点眼薬は1日4回使用しなければなりませんでしたが、今年から1日2回使用すれば効果がある目薬も出ておりますので、お近くの眼科で聞いてみてください。ほかには、コートに花粉が付いてしまうなど、いつも花粉に暴露されている状態になってしまう事を避けるために、家に入る前にコートを叩いて花粉を落としたり、花粉が付着したりしないように毛の多いコートを避ける事で、症状を軽くする事もできます。実際花粉症に悩まされている患者さんのコートには花粉がたくさん付いていたこともありました。

これらの工夫で、辛い花粉症の季節を乗り切りましょう。



アレルギー性結膜炎



今年も花粉症のシーズンがやってきました。花粉症とはアレルギー性鼻炎の中でも原因が「花粉(一般的にはスギ花粉)」とされているものの通称です。諸説ありますが日本人の4人に1人は花粉症だと言われています。



・どのような症状が出てくるのか？

主な症状は「くしゃみ」「鼻水」「鼻づまり」ですが、鼻の症状以外に目の症状(かゆみ、涙、充血など)、皮膚のかゆみ、のどのかゆみを伴うことが多いです。

・なぜ鼻の症状がでるのか？

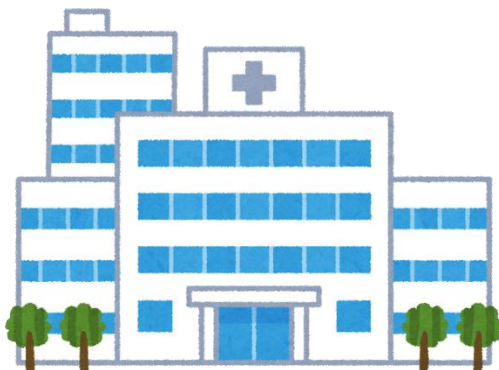
人間は1日の多くを鼻呼吸で過ごしています。そのためスギ花粉が飛散している時期には多量のスギ花粉が鼻の中に入ってくるようになります。鼻に入ったスギ花粉を人間の体は異物と判断して排除しようとします。その際に起こるのが「抗原抗体反応」というものです。この反応の中でアレルギー誘発物質が放出されて鼻の粘膜が腫脹して鼻づまりが起きたり、鼻水の分泌が増えたりします。

・どうするのが正しい対策なのか？

1番大事な対策は、花粉を体内に入れないことです。外出時にはマスク・花粉症対策メガネ・帽子を着用し、洋服に関しても花粉が付きにくい表面がツルツルした素材を選びましょう。さらに帰宅時には家に入る前に着ていた上着をはたいて花粉を落として家の中に花粉を持込まないように心がけるのもよいとされています。

それでも症状がでてしまう場合には薬での治療となります。アレルギーの薬は様々なメーカーから販売されています。ご自身と薬の相性というのもあり必ずしも評判通りの効果が出なかったり、副作用で眠気やだるさが出てしまったりすることもあります。最近は薬局で買えるアレルギーの薬も増えてきました。病院に行かずに購入できる気軽さもあり便利になったと感じますが、効果が乏しかったり、副作用が出てしまったりする場合には耳鼻咽喉科を受診して薬の種類の相談をされると良いと思います。

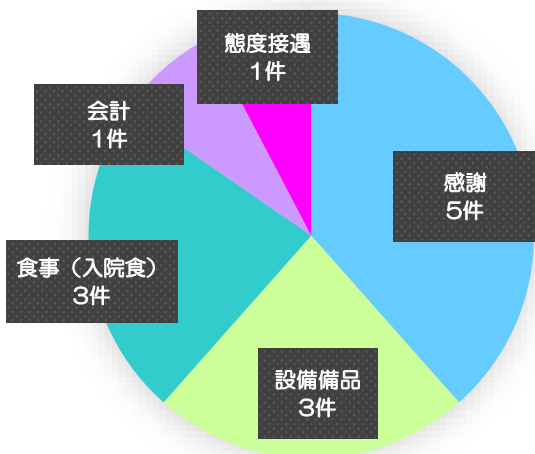
鼻水・鼻づまりがひどいと、イライラしたり仕事や勉強のパフォーマンスが低下したりしてしまうこともあります。今回の内容を参考にして頂き、適切な予防と治療をすることで皆様が健やかに生活できることを願っております。



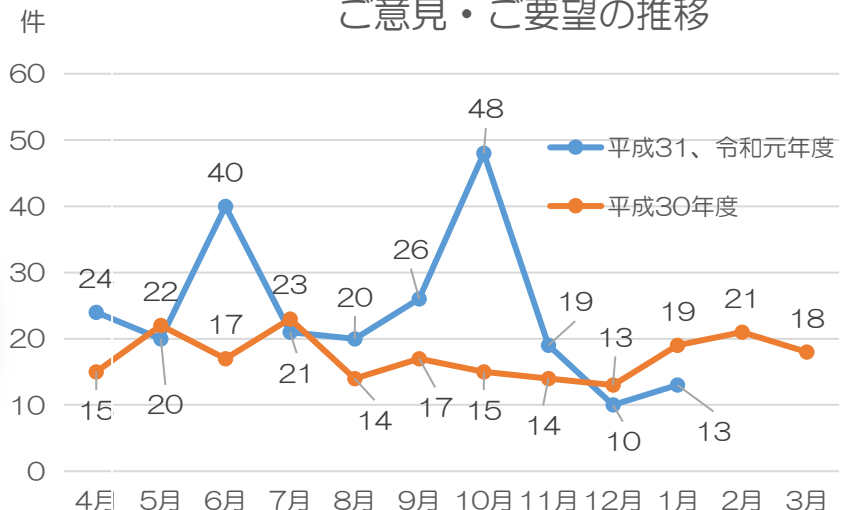
「ご意見・ご要望」についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>毎食、味噌汁をつけてほしい。 味が薄く、ふりかけがほしい。</p>	<p>この度は貴重なご意見ありがとうございます。病院食は1日10g未達の塩分量(塩分制限の食事では6g未達)で献立を作成しています。国で定めた日本人の食事摂取基準では、男性8g未達、女性7g未達が目標量となっており、そのため、毎食時に汁物、ふりかけ等をつけてしまうと基準をオーバーしてしまいます。生活習慣病予防のためにも、入院中に薄味に慣れていただければと思います。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。 回答部署：栄養科</p>
感謝	回答
<p>主治医の先生、病棟の看護師さん、事務の皆様、サポートしてくださったすべての皆様の心からのケア、本当にありがとうございます。救急搬送で手術を受け、患者や家族も心配の入院生活だと普通は思うのですが、心からのケアをいただき、心から健康になり退院できそうです。ありがとうございました。</p>	<p>この度は、ご退院おめでとうございます。急な発症にも関わらず、短期間で無事に回復されたことは患者さんの回復力に尽きると思います。そのサポートが少しでもできたことは私たち医療チームにとって励みになります。温かいお心遣いをいただき本当にありがとうございました。 回答部署：看護部</p>

令和2年1月分
ご意見・要望の内訳
総件数13件

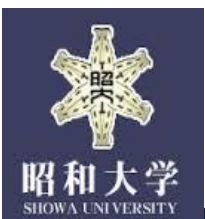


ご意見・ご要望の推移



編集後記 消化器外科 よこやま のぼる 横山 登

最近、大相撲観戦の機会が多くにわか相撲ファンになっています。この初場所は徳勝龍関が幕尻優勝をしました。初めて聞く言葉でした。22年ぶりの快挙で相撲界は大盛り上がりです。また、両国国技館へ行く度に若い女性が多くなると相撲女だらけです。私が相撲を好きになったのは確か中学生時代だったような……。輪島、北の湖時代です。相撲と言えばおじいちゃんおばあちゃんの人気スポーツ???と思ってましたが時代は変わるもので炎鷲、朝乃山、遠藤などのイケメン力士が土俵入りをするとおじいさんの声援より若い女性の声援のほうが国技館に響き渡っています。皆様も是非一度国技館に足を運んでみてください、きっと相撲が好きになると思います。新型コロナウイルスが中国を中心に世界中に流行しています。今は、みなさん手洗いうがいを徹底してこの時期を乗り切りましょう!!!



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ



Showa University Koto Toyosu Hospital